

2015年9月18日(金)

水海道教会ボランティアセンターニュース

委員長 福島純雄
統括主任 飯塚拓也

9月10日(木)に茨城県常総市を中心に大雨が襲い、堤防の決壊、家の流出、床上浸水などの多くの被害をもたらしました。この大水害によって、家族を亡くされた方や家を失った方々に、神さまの慰めのあることを祈ります。

そのような中で、私たちの大切な水海道教会と関連施設のふたばこども園も、大きな被害を受けることとなりました。それは、10日(木)に降った大雨が、11日(金)の未明より低い土地に流れ込み、冠水し、最大で120cmにまで達したことによる被害です。

その後、教会敷地にたまった水は12日(土)にはひき、それと同時に清掃や片付け等が始まりました。そして、13日(日)夕方には、関係者で集まり話し合い、水海道教会をお借りして「水海道教会ボランティアセンター」を設置することを決定しました。以降、ボランティアセンターを窓口としてボランティアの申し込みを受け付け、水海道教会とふたばこども園の清掃と片付けや教会員や関係者宅の清掃と片付け、廃棄物の運搬等にあたっています。



(被災状況と現状)

水海道教会は、会堂と牧師館が床上浸水の被害を受けました。会堂は床上30~40cmまで、牧師館は床上50cmまで水が達しました。床や壁を洗浄し、ふき取って、泥や汚れを清掃していますが、礼拝堂内部に敷かれていたカーペットは全面撤去することとなりました。今後、業者が消毒し、新たに敷物を敷いて使用できるように考えていらっしゃいます。また、水に浸かった物は洗浄し、できる限り再利用を願っていますが、泥に交じって様々な物が入り込んでいますから、廃棄せざるを得ない物も相当にのぼるでしょう。加藤牧師ご夫妻は、10日(木)の避難指示以降、近くの避難所である水海道小学校で泊まっておられました。14日(日)の夜より牧師館に戻られました。お疲れと健康が案じられます。

関連施設の、認定こども園ふたばこども園は、育ちサポートセンターを数年前に建築し、0~2才児のための保育室として使用してきました。また、3~5才児のための保育室の建築に入ったところで、仮園舎で保育をしていました。給食室も、仮給食室でした。その建物すべてに渡って冠水の被害にあい、現在休園中です。園バス3台と加藤牧師夫妻の車2台が水の被害によって、使用不能となりました。乗用車に関しては、教区の了解をいただき、1台レンタカーを借りて、加藤牧師に使用していただいています。

園舎の清掃と消毒、洗浄、片づけの毎日ですが、何より保育の再開が課題となっています。保護者の皆様のボランティアで作業は進んでいますが、保育再開を願う声も寄せられる中で、園長である加藤牧師は最も良き道を祈り求めておられます。

教会員のお宅や教会関係者のお宅、こども園スタッフのお宅と園関係者のお宅にも、相当の被災があります。床上浸水と床下浸水によって、清掃、洗浄、片づけ、廃棄処理の必要があります。14日(月)から始まったボランティアの働きによって、1軒づつ作業の完了の報告が寄せられています。しかし、完了にはもうしばらくかかる場所もありますし、新たなニーズも生まれつつあります。

昨日、ようやく水道が復旧しました。また、今日18日は、関東鉄道常総線が取手~水海道間で開通しました。こういったこと、一つひとつが、住民の皆様には大きな励みです。

(組織と取り組み)

「水海道教会ボランティアセンター」は、茨城地区内の県南の教会の牧師によって組織されました。委員長に、地区長の福島純雄牧師（筑波学園教会）、統括主任に、飯塚拓也牧師（竜ヶ崎教会）を選出し、運営委員に、小林祥人牧師（取手伝道所）、若月健悟牧師（守谷伝道所）、金子敏明牧師（牛久教会）、相原聡伝道師（下館教会）を選出しました。

ボランティアセンターには、委員が交代で奉仕し、当日のボランティアの受け入れと派遣に取り組んでいます。水海道教会とふたばこども園よりの依頼への対応のほか、ボランティアセンターに寄せられるニーズに応えるべく努力をしています。



(ボランティアについて)

14日(月)から18日(金)まで、平均して25名前後のボランティアをお迎えしています。遠くは、兵庫教区、大阪教区、そして、仙台エマオからボランティアが駆け付けてくださっています。西東京教区からも参加があり、そのたSCFやKKGからの派遣やYMCAからの派遣等、ネットワークを通して様々の方々が参加くださり感謝にたえません。またこども園の保護者の方々もボランティアセンターに来てくださり、園スタッフと一緒に掃除や片づけをしてくださっています。スタッフと合わせて、平均して25名前後です。関東教区、茨城地区からも力強い応援をいただいています。

ボランティアセンターは、毎朝8時30分までに担当スタッフが来て、その日の打ち合わせをします。当日参加予定のボランティアの確認と、その日のボランティアの要請を確認します。

朝9時までにボランティアが到着します。到着後、派遣先への振分けが行われ、ボランティアに出かけます。お昼には一旦センターに帰っていただいて、昼食・休憩を取り、1時から再び派遣先を振りわけ、出かけます。

午後4時にはその日のボランティアを終了し、センターに戻り、皆でミーティングをします。一日の活動状況の報告、気がついた点などを共有し、祈りをもって終了します。その後、スタッフでミーティングをします。

(その他)

①水海道教会ボランティアセンターは、当初、明日20日(土)までを一つのくぎりとしてスタートしました。それ以降の活動については、明日の夕方に運営委員会を開いて協議し、決定します。このため、現時点では、来週のボランティアについては、明確にお答えすることはできませんことをご理解ください。ただし、水海道教会とふたばこども園、そして、教会員や関係者等の復旧には、できる限り寄り添わせていただきたいという思いは、センター全体の願いであります。様々の状況のある中で、私たちは何ができるか、何をすべきかを、祈り求めてまいります。

明日の委員会の結果は、関東教区のホームページの「掲示板」にてお知らせをいたします。時間の関係で個別にはお知らせできませんので、ぜひ掲示板をご覧ください。

②水海道教会とふたばこども園の状況も含めて、外部からの問い合わせは、窓口を一本化させていただいています。窓口は、飯塚拓也統括主任です。被災状況の質問やボランティア等のお尋ねと申し込みは、飯塚統括主任にお知らせください（竜ヶ崎教会 0297-64-3768）です。加藤牧師の負担を減らす意味でも、加藤牧師への直接の連絡はお控えいただきますようお願いいたします。

水害発生後、様々の対応に追われ、教区ホームページ以外の、教区全体への報告がなかなかできませんでした。ここに、この一週間の動きをまとめましたので、20日(日)の主日礼拝で教会の皆様にお知らせいただければ幸いです。

そして、どうか、一人でも多くの皆様の祈りをいただけますよう、お願いいたします。